

東大和市狭山緑地雑木林の会

東大和市狭山緑地雑木林の会は、東大和市立の東大和狭山緑地内で萌芽更新や択伐、下草刈り等の維持管理活動を行っています。会員数が 100 名を超える大規模な団体であり、行政機関や他団体との交流・協働を積極的に行っています。

■団体の概要

東大和市狭山緑地雑木林の会は、東大和市立の東大和狭山緑地において 1997 年より萌芽更新や択伐、下草刈りなどの維持管理活動を行っています。平成 20 年度現在で約 110 人が会員登録しており、自然観察会への参加のみの会員もいるため、維持管理活動への参加者は約 60 人となっています。会員の募集は市報等に掲載して行っています。

会費は徴収しておらず、自然体験学習での講師等での講演料やカンパなどを財源に運営しています。また東大和市から市民活動支援としてボランティア保険等のサポートや、緑地保全にとりくんでいる財団法人等から助成金をうけています。助成金は機材の購入費に充てています。

■経緯

1996 年に東大和市の呼びかけで狭山緑地保全管理のボランティアが集まり、東大和市環境課、郷土博物館主導のもと、東京経済大学の廣井敏男^{ひろいとしお}先生の指導で勉強会、萌芽更新作業に取り組みました。狭山緑地の継続的な維持管理の必要性から、このときのボランティアを母体として東大和市狭山緑地雑木林の会が設立されました。2007 年には創立 10 周年を記念して「夢の未来へ」という冊子を発行しました。

■維持管理活動

狭山緑地は雑木林として利用され固有の生態系を育ててきました。雑木林は人の手による維持管理があつてこそ、その生態系を維持することができます。雑木林の会では定期的に萌芽更新や択伐、下草刈りなどの維持管理活動を行っています。作業にあたってはチェーンソーの使い方など専門的な技術が必要になりますが、講習会等に参加しノウハウを蓄積してきました。作業時にはチーム分けを行い、分担して効率的に作業を行っています。5カ年間の作業計画を立て、3か月ごとに見直しながら計画的に作業を行っています。

■連携・協働

東大和市立郷土博物館の協力により、敷地内に機材を保管しています。また学芸員から保全すべき樹木等のアドバイスを受けています。また東大和市環境学習リーダー連絡会への参加や東大和市環境を考える会との交流など、他団体との交流を積極的に行っています。市内の小学校へのサタデースクールへの協力なども行っています。



炭焼き
※東大和市狭山緑地雑木林の会提供